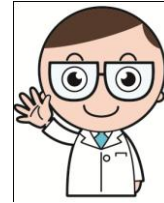


医業トピックスQA

平成 24 年
8 月 17 日
第 12 号

今月の院長先生からの質問



Q 胃カメラを新しくしたいと思いますが、購入とリースではどちらがいいでしょうか？
また、リースにした場合、リース期間終了後は再リースと購入ではどちらがいいでしょうか？

A 結論から言うと、資金に余裕があれば購入の方がトータルコストは少なく済む可能性が高いと言えます。
一般的には、長く使用し、使い古してしまうようなら購入、数年でモデルチェンジするような機種だとリースの方がいいと言われます。
胃カメラの寿命は約 10 年、内視鏡システム（カメラと本体のセット）も約 10 年ほどでモデルチェンジするようですが、内視鏡システムは開業時に導入する機会が多いので、リースにしている可能性が高いと思われます。リース期間が 5 年だとすると、期間終了後は買い取って、どちらかの寿命、もしくはモデルチェンジの時期がくるまで、支払資金を抑えた方がいいかもしれません。（新しいモデルの本体に古いモデルのカメラはつけられますが、その逆は出来ないようなので注意が必要です。）

今月の時事ニュース

『病院は 11 施設、診療所は 53 施設増』

～医療施設動態調査

厚生労働省が発表した「医療施設動態調査（2012 年 4 月概数）によると、今年 3 月～4 月に病院の数は 11 施設減ったのに対し、診療所は 53 施設増えた。

調査結果によると、全国にある病院の数は 4 月末現在、8569 施設。昨年 8 月以来、減少が続いており、この 1 年間では 63 施設減少した。一方、診療所は 10 万 10 施設で、昨年 10 月以来 6 か月ぶりに 10 万の大台に乗った。

病院の種類別に 3～4 月の増減を見ると、精神科・結核以外の一般病院が 14 施設減り、7495 施設。これに対し精神科は 3 施設増え、1073 施設になった。

診療所では、有床診療所が 50 施設減の 9881 施設。無床診療所は 103 施設増えて 9 万 129 施設となった。

また、病院の病床数は 157 万 9765 床で、前月から 1196 床、前年同月から 8617 床の減、療養病床は 32 万 9488 床で、前月から 1249 床減った。一般病床は 89 万 7595 床で、324 床減少した。